

2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年11月11日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

AGENDA

第1部 2009年3月期 第2四半期決算概況、 および通期業績見通しについて

常務取締役
上原 伸夫

第2部 中期経営計画重要施策実施状況

代表取締役社長
水野 紘一

I. 2009年3月期 第2四半期決算概況

常務取締役
上原 伸夫

1. 2009年3月期 第2四半期決算＜連結＞

- ✓ 売上高は、上半期としては過去最高
- ✓ 研究開発の推進により販管費は前年同期比増加となるも、期初計画に対しては抑制
- ✓ 結果、利益は期初予想を大幅に上回り(*)、営業利益・当期純利益は増益となった

(百万円)

	09年3月期 第2四半期	前期との比較			期初予想(5/12発表)との比較		
		08年3月期 上期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	36,178	35,012	+1,166	+3.3%	35,435	+743	+2.1%
売上総利益	10,916	10,685	+231	+2.2%	—	—	—
売上総利益率	30.2%	30.5%	△0.3pts	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	9,746	9,562	184	+1.9%	—	—	—
営業利益	1,169	1,122	+47	+4.2%	509	+660	+129.7%
営業利益率	3.2%	3.2%	+0.0pts	—	1.4%	+1.8pts	—
経常利益	1,235	1,253	△18	△1.4%	568	+667	+117.4%
四半期純利益	423	394	+29	+7.4%	93	+330	+354.8%

(*) 10月30日に発表した業績予想修正のとおり。なお、本プレゼン資料における予想比は、期初予想(2008年5月12日発表)との比較で記載。

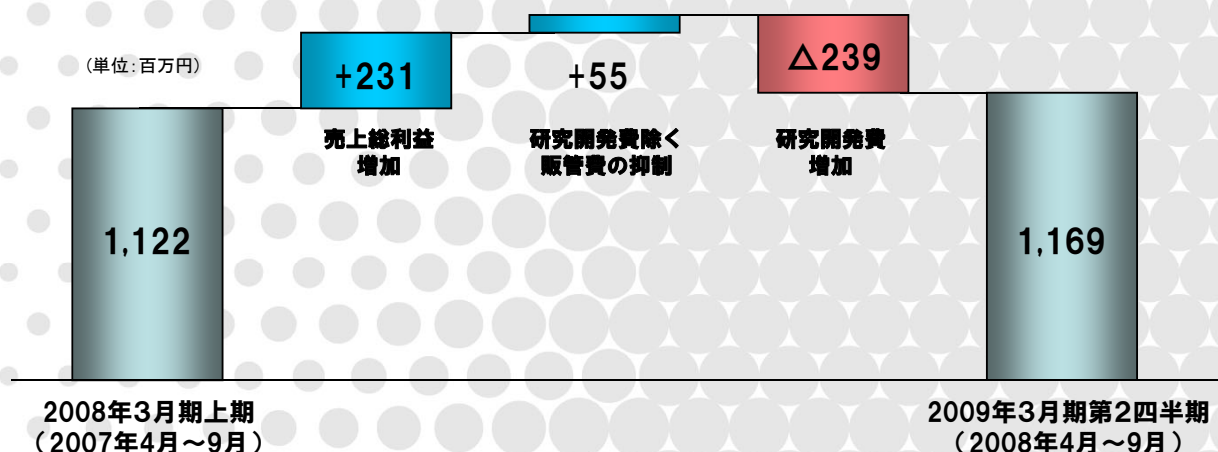
2. 営業利益の増減要因(連結・前年同期比)

【売上総利益】

- ✓ 増収により、売上総利益が前年同期比増加

【販売費及び一般管理費】

- ✓ 研究開発費を除く販管費は、技術者の有償稼働率が向上したこと等により、前年同期比減少
- ✓ 研究開発費は、中期経営計画に基づいて積極的に実施したことにより、前年同期比増加



COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

5

3-1. 業種別売上高 <金融業>

単位:百万円

前年同期	09年3月期 第2四半期	増減率
10,613	11,209	+5.6%

- ✓ 政府系金融機関向け基幹業務システム、大手銀行向けインターネットバンキングシステムなどの受託システム開発が拡大
- ✓ 日銀ネット即時グロス決済に対応した「流動性管理システム」、地域金融機関向け融資業務支援システム「RiskTaker」等、ソフトウェア製品ライセンスやアドオン開発・導入技術支援も好調
- ✓ 株式会社ブレインワークスにおいても、金融機関向けコールセンターシステム「e-MARKETBRAIN」などソフトウェア製品のライセンス販売を中心に売上高が拡大

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

6

3-2. 業種別売上高 <製造業>

単位: 百万円

前年同期	09年3月期 第2四半期	増減率
13,822	14,180	+2.6%

- ✓ 製品設計開発分野においては、新規ライセンスの需要拡大が難しくなる一方、ソフトウェアの活用支援や、設計開発プロセスの改革支援に対するニーズは非常に強く、受託解析サービスや技術支援、コンサルティングサービスなどの人的サービスが好調
- ✓ 基幹業務の分野では、ERPシステムのアドオン開発、および導入技術支援サービスが拡大
- ✓ 内部統制関連ビジネス、連結会計システム「STRAVIS」は伸び悩む

3-3. 業種別売上高 <サービス業>

単位: 百万円

前年同期	09年3月期 第2四半期	増減率
7,266	7,089	△2.4%

- ✓ 主要顧客に対するシステムの運用保守サービスが、前年同期比拡大
- ✓ 一方、受託システム開発がそれを上回って減少したことから、前年同期比減収

3-4. 業種別売上高 <流通業他>

単位: 百万円

前年同期	09年3月期 第2四半期	増減率
3,309	3,699	+11.8%

- ✓ 主要顧客に対する基幹業務(ERP)システムのアドオン開発・導入技術支援、顧客管理(CRM)システムの受託システム開発などが好調

4. サービス品目別売上高

- ✓ iSiDコンサルティング・エステック等の製造業向けコンサルティングサービスが拡大
- ✓ ソフトウェア製品は、「流動性管理システム」「RiskTaker」「Q-style」「e-MARKETBRAIN」、人事管理パッケージシステム「POSITIVE」等が好調
- ✓ アウトソーシング・運用保守サービスは、製造業向け業務受託サービス、ならびにサービス業の主要顧客向け運用保守サービスが前年同期比拡大

(百万円)

	09年3月期 第2四半期	前期との比較		期初予想(5/12発表)との比較	
		08年3月期 上期	増減率	予想	増減率
コンサルティング	1,881	1,749	+7.5%	1,642	+14.6%
受託システム開発	10,399	10,575	△1.7%	10,499	△1.0%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	4,380	3,946	+11.0%	4,600	△4.8%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	12,690	12,180	+4.2%	12,310	+3.1%
アウトソーシング運用保守	3,161	2,529	+25.0%	2,728	+15.9%
情報機器販売・その他	3,664	4,029	△9.1%	3,654	+0.3%
合計	36,178	35,012	+3.3%	35,435	+2.1%

5. 連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2008年 4月～9月	2007年 4月～9月	増減	主な増減要因(対前年同期)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,233	3,515	+2,718	たな卸資産の減少(2,182百万円)、 前受金の増加(1,116百万円)等
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,908	△810	△3,098	有形固定資産の取得による支出の増加(△2,064百万円)、 ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出の増加 (△1,018百万円)、投資有価証券の売却がなくなったこと による収入の減少(△231百万円)、等
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,172	△326	△846	新リース会計基準適用によるリース債務の返済による支出 (△846百万円)
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	△4	+4	
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,153	2,373	△1,220	
現金及び現金同等物の 期首残高	13,153	11,042	+2,111	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	14,306	13,416	+890	

6. 連結貸借対照表

(百万円)

	2008年 9月30日	2008年 3月31日	増減	主な増減要因(対前期末)
流動資産	36,834	40,070	△3,236	売掛金の減少(△5,362)、前渡金の増加(1,008)、 預け金の増加(859)等
固定資産	18,690	12,854	+5,836	新リース会計基準適用によるリース資産の増加(3,063)、 土地の増加(1,623)、ソフトウェアの増加(1,127)等
資産合計	55,525	52,925	+2,600	
流動負債	19,698	19,164	+534	前受金の増加(2,600)、新リース会計基準適用による短期 リース債務の増加(1,304)、買掛金の減少(△1,429)、 未払法人税等の減少(△1,349)等
固定負債	2,130	219	+1,911	新リース会計基準適用による長期リース債務の増加 (1,913)
負債合計	21,828	19,384	+2,444	
純資産合計	33,696	33,541	+155	四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(423)、 前期末配当の実施による利益剰余金の減少(△325)等
負債純資産合計	55,525	52,925	+2,600	

7. ブレイニーワークスの業績

- ✓ 人事管理パッケージ「POSITIVE」、金融機関向けコールセンターシステム「e-MARKETBRAIN」などソフトウェア製品ライセンスの好調等により前年同期比増収
- ✓ 「POSITIVE」の機能強化開発等、研究開発費の前年同期比増加により、減益

(百万円)

	09年3月期 第2四半期	前期との比較		
		08年3月期 上期	増減額	増減率
 売上高	3,818	3,698	+120	+3.2%
営業利益	△141	43	△184	—
営業利益率	△3.7%	1.2%	△4.9p	—
グループ内売上比率	15.1%	13.4%	1.7p	—
従業員数(人)	378	371	7	

8-1. 2009年3月期 通期業績予想

- ✓ 事業環境は厳しさを増しており、売上高は前期並みに留まる見通し
- ✓ 販売費及び一般管理費は、減収に伴い抑制を図るも、研究開発は引き続き積極的に推進する計画であることから、前期を上回る見通し
- ✓ 結果、営業利益、経常利益および当期純利益は、前期・期初予想を下まわる見通し

(百万円)

	09年3月期 通期業績予想	前期との比較			期初予想(5/12発表)との比較		
		08年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	77,844	77,311	+533	+0.7%	79,746	△1,902	△2.4%
営業利益	4,000	4,694	△694	△14.8%	4,360	△360	△8.3%
営業利益率	5.1%	6.1%	△1.0pts	—	5.5%	△0.4pts	—
経常利益	4,104	4,974	△870	△17.5%	4,459	△355	△8.0%
経常利益率	5.3%	6.4%	△1.1pts	—	5.6%	△0.3pts	—
当期純利益	1,740	2,275	△535	△23.5%	2,136	△396	△18.5%
当期純利益率	2.2%	2.9%	△0.7pts	—	2.7%	△0.5pts	—

8-2. 業種別売上高予想

- ✓ 金融業、流通業他においては、前期比増収を見込む
- ✓ 製造業においては、ソフトウェア商品を中心に伸び悩み、ほぼ前期並みを見込む
- ✓ サービス業向けについては、主要顧客からの売上が引き続き厳しく推移すると見込む

(百万円)

	09年3月期	前期との比較	
		08年3月期	増減率
金融業	25,781	24,497	+5.2%
製造業	29,049	28,994	+0.2%
サービス業	14,559	15,502	△6.1%
流通業他	8,454	8,316	+1.7%
合計	77,844	77,311	+0.7%

8-3. サービス品目別売上高予想

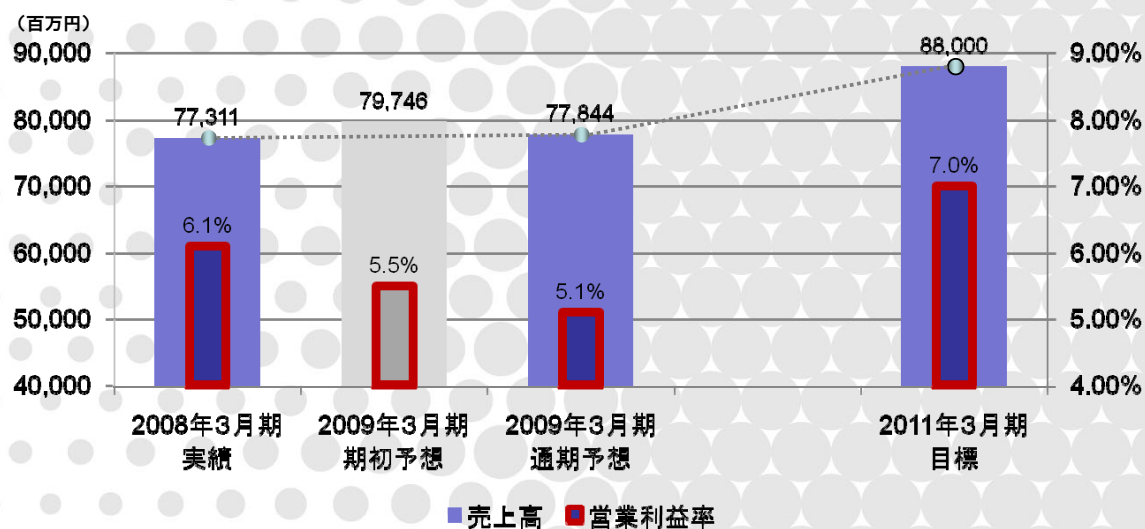
- ✓ 主に単体、iSiDテクノソリューションズ、プレイネットワークスにおいて、ソフトウェア商品、ソフトウェア製品が伸び悩み見込み

(百万円)

	09年3月期	前期との比較			期初予想(5/12発表)との比較		
		08年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
コンサルティングサービス	3,641	3,622	+19	+0.5%	3,520	+121	+3.4%
受託システム開発	23,602	24,084	△482	△2.0%	23,604	△2	△0.0%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	10,474	9,023	+1,451	+16.1%	11,401	△927	△8.1%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	26,117	26,241	△124	△0.5%	27,798	△1,681	△6.0%
アウトソーシング・運用保守 サービス	5,985	5,136	+849	+16.5%	5,500	+485	+8.8%
情報機器販売・その他	8,024	9,203	△1,179	△12.8%	7,921	+103	+1.3%
合計	77,844	77,311	+533	+0.7%	79,746	△1,902	△2.4%

9. 中期経営計画への影響

- ✓ 中期経営計画については変更なし
- ✓ 引き続きiSiDグループの競争優位性の強化に努め、
2011年3月期の売上高880億円、営業利益率7%、ROE8%を目指す



参考資料＜個別業績および通期予想＞

◆ 2009年3月期 第2四半期決算＜個別＞

(百万円)

	09年3月期 第2四半期	前期との比較			期初予想(5/12発表)との比較		
		08年3月期 上期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	28,701	27,267	+1,434	+5.3%	27,120	+1,581	+5.8%
売上総利益	7,741	7,365	+376	+5.1%	—	—	—
売上総利益率	27.0%	27.0%	△0.0pts	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	6,640	6,422	218	+3.4%	—	—	—
営業利益	1,101	943	+158	+16.8%	606	+495	+81.7%
営業利益率	3.8%	3.5%	+0.3pts	—	2.2%	+1.6pts	—
経常利益	1,266	1,188	+78	+6.6%	775	+491	+63.4%
四半期純利益	614	588	+26	+4.4%	374	+240	+64.2%

◆ 2009年3月期 第2四半期決算＜個別＞

業種別売上高

(百万円)

	09年3月期 第2四半期	前期との比較	
		08年3月期 上期	増減率
金融業	7,353	6,978	+5.4%
製造業	11,506	10,757	+7.0%
サービス業	6,795	6,939	△2.1%
流通業他	3,045	2,591	+17.5%
合計	28,701	27,267	+5.3%

◆ 2009年3月期 第2四半期決算＜個別＞

サービス品目別売上高

(百万円)

	09年3月期 第2四半期	前期との比較		期初予想(5/12発表)との比較	
		08年3月期 上期	増減率	予想	増減率
コンサルティング	1,314	1,178	+11.5%	1,067	+23.1%
受託システム開発	8,136	8,176	△0.5%	8,055	+1.0%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	2,430	2,109	+15.2%	2,580	△5.8%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	11,088	10,373	+6.9%	10,094	+9.8%
アウトソーシング運用保守	2,927	2,285	+28.1%	2,500	+17.1%
情報機器販売・その他	2,804	3,142	△10.8%	2,821	△0.6%
合計	28,701	27,267	+5.3%	27,120	+5.8%

◆ 2009年3月期 通期業績予想＜個別＞

(百万円)

	09年3月期	前期との比較			期初予想(5/12発表)との比較		
		08年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	60,918	60,871	+47	+0.1%	60,903	+15	+0.0%
営業利益	3,251	3,513	△262	△7.5%	3,659	△408	△11.2%
営業利益率	5.3%	5.8%	△0.5pts	—	6.0%	△0.7pts	—
経常利益	3,574	4,004	△430	△10.7%	3,981	△407	△10.2%
経常利益率	5.9%	6.6%	△0.7pts	—	6.5%	△0.6pts	—
当期純利益	1,665	1,529	+136	8.9%	2,214	△549	△24.8%
当期純利益率	2.7%	2.5%	+0.2pts	—	3.6%	△0.9pts	—

◆ 2009年3月期 通期業績予想＜個別＞

業種別売上高

(百万円)

	09年3月期	前期との比較	
		08年3月期	増減率
金融業	17,209	16,576	+3.8%
製造業	23,247	22,828	+1.8%
サービス業	13,899	14,838	△6.3%
流通業他	6,562	6,626	△1.0%
合計	60,918	60,871	+0.1%

◆ 2009年3月期 通期業績予想＜個別＞

サービス品目別売上高

(百万円)

	09年3月期	前期との比較			期初予想(5/12発表)との比較		
		08年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
コンサルティングサービス	2,523	2,524	△1	△0.0%	2,410	+113	+4.7%
受託システム開発	19,216	19,034	+182	+1.0%	19,009	+207	+1.1%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	5,796	5,041	+755	+15.0%	6,055	△259	△4.3%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	22,231	22,443	△212	△0.9%	22,685	△454	△2.0%
アウトソーシング・運用保守 サービス	5,429	4,641	+788	+17.0%	4,989	+440	+8.8%
情報機器販売・その他	5,720	7,185	△1,465	△20.4%	5,752	△32	△0.6%
合計	60,918	60,871	+47	+0.1%	60,903	+15	+0.0%

II. 中期経営計画重要施策実施状況

代表取締役社長
水野 紘一

1. 事業環境認識および経営方針について

事業環境認識	
足下	中期
景況感の悪化に伴い、業種を問わず、顧客企業におけるIT投資抑制傾向は顕著。新規投資予算縮小、商談やプロジェクトの中断など事業環境としては非常に厳しい。	企業の競争力強化に向けた戦略的IT投資の必要性への認識には変化はない。景況感が一時的後退局面から脱し、回復するに伴いIT投資意欲は急速に回復する可能性高い。

経営方針	
足下の対応	中期を見据えた対応
顧客の優先順位の高い投資案件に注力 販管費の削減努力 外注費の適正化推進	顧客課題へのソリューション積極提案 iSiDグループの競争力強化・差別化 ・ソリューション開発 ・事業基盤の強化 ・成長投資

2. 中期経営目標および施策(2008年5月発表) **iSiD**

IT Solution Innovator

2010年度業績指標 連結売上高:880億円 連結営業利益率:7% ROE:8%

1. 顧客の進化を加速するソリューションの創出

金融業向けソリューション事業	製造業向けソリューション事業	サービス・流通業その他業種向けソリューション事業	クロス・インダストリーソリューション事業
「市場系」「コーポレート・ファイナンス」「リテール・コミュニケーション」「グローバル・ビジネス」の4領域に集中。 - 顧客セグメントは、金融業務や金融サービスを実施する異業種企業まで拡大する。	- 企業全体のプロセスを最適化する一気通貫ソリューションの提案と実施(IM3Cの実現)。 - 設計開発分野における、業務プロセス改革コンサルやエンジニアリングコンサルに注力。 - 製造業の海外拠点に対し、C3PサポートからERPサポートまでサービスを拡充。	- 電通グループにおけるテクノロジーパートナーとしてデジタル領域でのサポート。 - 放送・通信融合の分野におけるソリューションの研究開発と事業化の推進。 - マーケティングソリューションの提供推進。消費者との双方向コミュニケーションと業務プロセスの連携の実現。	- 企業の連結経営の高度化を支援するソリューション群の充実 ✓ 連結会計パッケージ「STRAVIS」機能強化 ✓ 人事管理パッケージ「POSITIVE」機能強化 ✓ 経営の見える化・効率化を実現する経営管理ソリューションの拡充

2. 事業基盤の継続的進化

- ビジネスプロセスの標準化・効率化
- リスク管理の継続的強化
- グループ内人事制度の整備および人材育成の促進
- 管理間接部門の効率化
- グループ体制の全体最適化
- 内部統制強化によるガバナンスのさらなる進化

3. 積極的投資の実行

- 新規ソリューション開発などを将来に向けた事業拡大と事業基盤整備を目的として、積極的投資を実行(事業投資、社内インフラ投資とも)
- 2008年度は、ソフトウェア製品の新規/追加機能開発、開発基盤技術調査等に加え、データセンター自社化や社内基幹システム開発を予定。

	08/3期	中期経営計画期間			(億円)
		09/3期	10/3期	11/3期	中計期間計
事業投資(経費性)	9	19	17	18	54
事業投資(資産性)	10	32	10	9	51
社内インフラ	16	27	4	4	35
合計	35	78	31	31	140

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

27

顧客の進化を加速するソリューションの創出 3. 主な事業別施策の取り組み①

iSiD
IT Solution Innovator

金融業向けソリューション事業

- 「市場系」「コーポレート・ファイナンス」「リテール・コミュニケーション」「グローバル・ビジネス」の4領域に集中。

✓市場系

メガバンク向けデリバティブシステム更改。下期稼働開始。

次世代市場系ソフトウェア「Active Stream」(英Quartet社)、下期よりパイロットプロジェクト開始。

✓リテール・コミュニケーション

マーケティングソリューション「Affinium」、オンライン証券に導入

大手銀行インターネットバンキングシステム10月稼働

✓コーポレート・ファイナンス

地域金融機関向けソリューション統合ブランド「BankR」立上げ

「RiskTaker」、上期新規1行。累計ユーザ39社。追加モジュール導入進む。

「e-MARKETBRAIN」、上期2行。パッケージリニューアルを完了し、シェア拡大を推進中

✓グローバル・ビジネス

メガバンク向けグローバル・キャッシュ・マネジメント・システム、10月稼働開始。

メガバンク中国現法システム構築推進中。アセアン地域拠点システム化サポート体制構築に着手。

✓その他分野

政府系金融機関向け基幹システム構築、10月稼働開始。

日銀ネット次世代RTGS対応「流動性管理システム」、14行(社)で10月稼働開始。

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

28

3. 主な事業別施策の取り組み②

製造業向けソリューション事業

- 設計開発分野における、業務プロセス改革コンサルやエンジニアリングコンサルに注力。

ソリューションビジネス強化に向けた事業改革推進中。
大幅な組織改革を決定。下期、新体制で事業改革をさらに加速。

製品開発プロセス最適化システム「iPrime-NAVI」開発推進。下期、市場投入。

設計環境構築やデータ流通・活用等、C3Pシステムの有効活用を支援するコンサルティング強化を推進。

- 製造業の海外拠点に対し、C3PサポートからERPサポートまでサービスを拡充。

上海現法にERPサポートデスク開設し、サービス提供開始。
下期以降、体制増強、サポート拠点増加も視野。海外における構築・導入のサポートサービス拡大へ。

3. 主な事業別施策の取り組み③

サービス・流通業その他業種向けソリューション事業

- 電通グループにおけるテクノロジーパートナーとしてデジタル領域でのサポート。

クライテリア・コミュニケーションズに資本参加(10月)。アドテクノロジー分野への進出

電通グループ全体のデジタル技術力強化に貢献する積極的な人的支援

MITメディアラボの研究コンソーシアムへ電通と共同参画

エンタープライズ・サーチ分野のソリューション研究およびプレマーケティング実施。下期、事業開始へ。

- 放送・通信融合の分野におけるソリューションの研究開発と事業化の推進。

ワンセグ技術を用いたエリア配信システム「ワンセグボックス」開発

- マーケティングソリューションの提供推進。消費者との双方向コミュニケーションと業務プロセスの連携の実現。

大手音楽映像ソフト販売会社に「Affinium」導入

3. 主な事業別施策の取り組み④

クロス・インダストリーソリューション事業

- 企業の連結経営の高度化を支援するソリューション群の充実

- ✓連結会計パッケージ「STRAVIS」機能強化

連結会計パッケージ「STRAVIS」シリーズ、パイロットプロジェクト推進。

- ✓人事管理パッケージ「POSITIVE」機能強化

人事管理パッケージ「POSITIVE」、上期新規5社。小規模版を含め導入数1000社突破。機能拡張開発を推進中。

- ✓経営の見える化・効率化を実現する経営管理ソリューションの拡充

ERP連携ワークフローフレームワーク「BusinessHARMONY」開発、販売開始。

SAPグローバル会計テンプレート「BusinessFUSION」(日中英対応)開発、販売開始。

→ SAPデータ連携フレームワーク「BusinessSPECTRE」(2006年販売開始)とともに『ビジネスソリューションシリーズ』としてブランド化

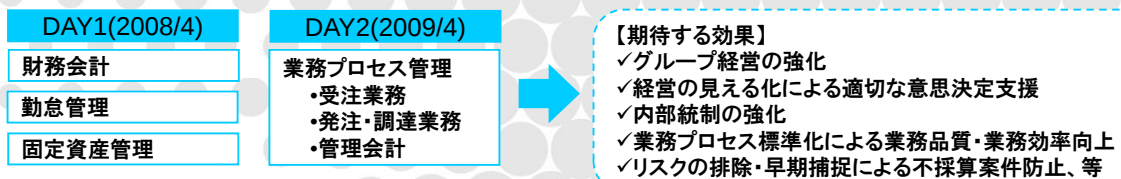
中長期経営計画策定システム「Hyperion Strategic Finance」(米Oracle社)販売開始。

企業分析ソフトウェア「Spotfire」(米TIBCO社)販売開始。

4. 事業基盤の継続的進化

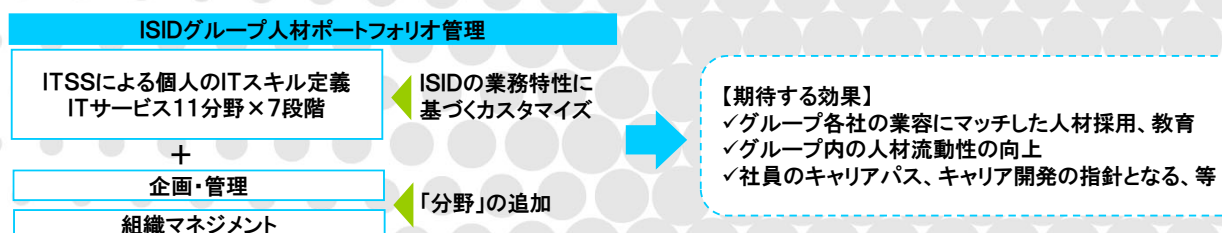
- ビジネスプロセスの標準化・効率化
- 内部統制強化によるガバナンスのさらなる進化

新基幹システム開発推進中。2009年4月ISID及び国内グループ5社で稼働開始予定。



- グループ内人事制度の整備および人材育成の促進

ITSS準拠の人材ポートフォリオ管理に向けグループの人事制度整備。下期、運用開始。



5. 積極的投資の実行

iSiD

IT Solution Innovator

- 新規ソリューション開発など将来に向けた事業拡大と事業基盤整備を目的として、積極的投資を実行（事業投資、社内インフラ投資とも）

主なソフトウェア製品の新規/追加開発、ソフトウェア商品調査、開発基盤技術調査等

金融業向け ソリューション事業	次世代市場系システム調査
	地域金融機関向け融資統合ソリューション「RiskTaker」機能拡張
	コールセンターシステム「e-MARKETBRAIN」強化
	次期個人ローン自動審査システム「e-JUSTBRAIN」開発
	流動性管理システム次世代RTGS対応
製造業向け ソリューション事業	金融ビジネス動向調査
	製品開発プロセス最適化システム「iPRIME-NAVI」開発
	製造業プロジェクト管理システム「Q-style」バージョンアップ開発
	3次元データ変換システム「PDCubic」バージョンアップ開発
サービス・流通・その他業種 向けソリューション事業	ワンセグ簡易放送システム研究
	検索エンジンソリューション調査
クロスインダストリー ソリューション事業	連結会計システム「STRAVIS」シリーズ機能拡張
	人事管理システム「POSITIVE」機能拡張開発
	ERP連携ワークフローフレームワーク「BusinessHARMONY」開発
	SAPグローバル会計テンプレート「BusinessFUSION」開発
その他技術研究	各種技術研究・開発（オープンソース「Seasar」、3Di、仮想化技術、映像伝送技術等）、等

データセンター自社化。7月受け渡し完了。

ISIDグループ新基幹システム開発(前述)

6. 中期経営計画の達成に向けて

iSiD

IT Solution Innovator

中期経営計画実行プロジェクトの設置

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. Customer Business Innovatorの実践プロジェクト | 5. 海外事業の強化プロジェクト |
| 2. クロスインダストリーソリューション・地域金融機関向けビジネスの推進プロジェクト | 6. 管理間接部門の効率化プロジェクト |
| 3. 製造ソリューションビジネスの推進プロジェクト | 7. 人材ポートフォリオの強化プロジェクト |
| 4. 運用保守サービスの拡大プロジェクト | |

事業戦略会議の設置

ISIDグループの事業投資、業務・資本提携、あるいは資本政策といった事業成長・強化戦略について、迅速かつ適切な経営判断を促すための、速やかな事前検討および案件絞り込み等を行う。



IT Solution Innovator

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。
従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。